

作家

三田 誠広氏

本を読むこと/本を書くこと

---Message---

中学から高校にかけて出会った本を紹介しながら、自分でも小説を書こうと考えるようになった経緯および近況などを語りたいと思います。

2019年5月 **19**日 日

14:00~16:00 開場 13:30

塩尻市市民交流センター(えんぱーく) 3階・多目的ホール

定員/60名(先着順) 参加費/無料 申込開始/4月7日(日)

※本の販売とサイン会があります。

申込方法

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、メールのいずれか。
メールの場合は、次の内容をお送りください。

宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp

件名 「5/19本の寺子屋申込」

本文 1参加者全員の氏名(フリガナ)

2代表者電話番号

3お住まいの地区

4この講演会を知ったきっかけ(新聞、広報など)

三田 誠広(みた まさひろ) 1948年、大阪生まれ。早稲田大学文学部卒。高校在学中に『Mの世界』が「文藝」に掲載されてデビュー。77年、『僕って何』で芥川賞。早稲田大学客員教授、武蔵野大学教授を経て、現在は武蔵野大学名誉教授。日本文藝家協会副理事長、SARTRAS副理事長。主な作品に、青春小説『いちご同盟』、歴史小説『空海』『道鏡』『西行』『聖徳太子』『親鸞』、児童文学『青い目の王子』、翻訳『星の王子さま』、評論『実存と構造』『数式のない宇宙論』『源氏物語を反体制文学として読んでみる』など著書多数。

